

<週報No. 2,901> 3,012 回例会

2019年11月1日(金)

◆会長／玉本 広人 ◆幹事／山田 文雄

◆司会＝八幡一成SAA

◆ゲストビジター＝本日はいらっしやいません。

◆出席報告

本日	75.00%	12名欠席
前回訂正	87.23%	7名欠席

◆ラッキーナンバー＝No.13 小口武男君

◆ニコニコボックス＝●玉本広人君、山田文雄君＝地区大会と図書贈呈式には大勢の御参加を頂きありがとうございました。●竹上幸浩君＝本日ロータリー財団委員会担当の例会をさせていただきます。●山崎晃君＝久しぶりの米国東海岸視察の為地区大会先週例会欠席して。●有賀昭彦君＝花を頂き有難うございます金婚式を何とか迎えました。●小林恭一君＝花を頂いて有難う。●太田信男君＝結婚記念日にお花をいただいて。●小口武男君＝お花を頂いて。●増沢洋太郎君＝結婚記念日にきれいな花をいただきありがとうございました。●朝倉英仁君＝昨日お花を頂きました有難うございます。●野口洋介君＝結婚記念日のお花をいただきありがとうございました。ちょうど本日が記念日になります。●小口武男君＝ラッキーNoにあたって。

◆会長告知・玉本広人会長＝皆さんこんにちは。

日曜日の地区大会に参加いただいた皆さん、お疲れさまでした。私と山田幹事、そして三井パストガバナーは前日より会議とRI会長代理歓迎晩餐会に参加し、美味しいお食事とスズキメソードの指導者の皆さんの弦楽四重奏やピアノ協奏曲など素晴らしい演奏を堪能させていただきました。その後、本の夜の街の活性化にも十二分に貢献をして参りました。翌朝皆さんを会場でお出迎えする予定でしたが、バスが早く着きすぎ皆さんにお出迎えいただく形になり申し訳ありませんでした。水野RI会長代理のお話でロータリーの楽しみ方を教わり、青少年アワーでは、諏訪ローターアクトの会長も登場する中、小針会員が裏方で活躍をしていただきました。そして舞の海さんの講演も大変面白く有意義な一日となりました。さて、一昨日、諏訪中学校において図書贈呈式とふるさと学習発表会が行われました。例年行っている図書

の寄贈ですが、今期は諏訪市の小中学校で行っている「ふるさと学習」に着目し、ふるさと学習関連図書とふるさと学習に活用できるデジタルカメラを4中学校に送らせていただきました。このふるさと学習は、郷土諏訪の「ひと・もの・こと」を題材とした、地域に根差した学習であり、諏訪市の歴史や文化を学び、自然に親しむことで、諏訪市に愛着や誇りを持ち、進学などで諏訪市を離れても将来戻って来たいと思えるよう、「郷土への理解や愛着」を育むという趣旨のもと、小学校では「すわっこ学習」、中学校では「諏訪学」という名称で2年前より行われています。子どもたちの事例発表でもふるさと諏訪のいろんな所へ生徒たち自らの計画で訪れていて、良い経験をしていると思います。今回はそれに合わせて、小平会員の奥様陽子さんとスワンプロジェクト代表で諏訪市図書館司書の河西皆子さんにもお話をいただきました。小平陽子さんはイラストレーターやグラフィックデザイナーとして活躍しており、今回の寄贈図書の中に、小平さんのお書きになった諏訪の御柱や御神渡り、霧ヶ峰などを題材にした紙芝居がありましたので、それらを製作された経緯やふるさと諏訪への気持ちを語っていただけないかとお願いさせていただきました。一緒に活動なさっているスワンプロジェクト代表の河西さんと一緒にお話をさせていただければということで、お二人に話をしたいただきました。

ふるさと諏訪の事が好きな人たちが、諏訪のために、いろんなところでいろんな活動をしているということが子供たちに伝えられてとても良い企画になったと思います。当日の段取りをしていただいた小針社会奉仕委員長ありがとうございました。報告例会もよろしく願いいたします。また本日担当の竹上ロータリー財団委員長には、報告書の作成もお願いいたします。

最後に昨日未明に起こった沖縄首里城の火災は、正殿など6棟が消失する大変な被害となってしまいました。有名な守礼の門は残ったようですが、沖縄のシンボルとして1992年に再建された首里城の消失は沖縄の人々にとって大変なショックであろうと思います。私も何度か訪れましたが、ぜひ一日も早く再建できますよう、何か力になればと思っています。

◆幹事報告・山田文雄幹事＝27日の地区大会では18名の皆様に全日程最後まで参加を頂き、有難うございました。舞の海さんの講演も大変興味深いものでしたし、大会会場でのラストの手に手をつないでの合唱は圧巻で

した。30日には諏訪中で図書贈呈式が行われ、11名の皆様にご参加を頂きました。1年生の諏訪学実践の発表、スワンプロジェクト河西皆子さん、小平さんの素敵な奥様 小平陽子さんの発表、贈呈式、会長・教育長挨拶、子供たちのお礼の言葉といった内容でした。詳細は15日の例会となります。地区事務所から2件、連絡が入っております。手続要覧の2019年度版日本語版がMyRotaryにアップされました。組織規程のページにあります。尚、MyRotaryのアカウント登録状況に付いてお知らせします。2600地区平均で31.61%に対し諏訪ロータリークラブは56.25% 27名です。もう21名のご登録で100%となります。第7回日台ロータリー親善会議が福岡であります。ご興味のある方は幹事までお願いします。来週の8日金曜日の例会は有りません。10日日曜日は親睦・クラブ親善委員会担当のバスハイク家族例会です。私も楽しみにしています。小平委員長、宜しく申し上げます。尚、15日金曜日の3014回例会は、社会奉仕委員会担当のクラブフォーラムです。小針委員長ご準備の程、宜しく申し上げます。例会終了後に定例の理事会を短時間行います。

◆クラブフォーラム：ロータリー財団委員会卓話・竹上幸浩委員長＝<2019-20年度地区ロータリー財団委員会の目標と計画>で求められている事項から、目標と計画というのが、ロータリー財団2600地区の委員会が3回ほどあり7月に参加した際、「3が今年の目標だということで提示していただいたものが8項目あります。」その中の3番から、その性格8つ紹介します。先ず1つ目は「寄付目標」ということです。年次基金の寄付ということで1人平均150ドル以上になっておりますが、当諏訪クラブでは誕生月に100ドルずつ頂戴しております。2番目に「ポリオ・プラス基金への寄付」1人平均30ドル以上でお願いしております。諏訪クラブにおいては予算の中にポリオ・プラスは、人数分×30ドル、今期は48名で161,280円予定しております。また、昨年度の会計で示していただいた決算額135,300円でした。また3番目にロータリー平和センターへの寄付は1人平均500円以上になっておりますが、これも同じく予算措置をしていただきロータリー平和センターへの寄付金が今季予算で24,000円、前期が決算で20,500円寄付しております。2番目は年次基金寄付ゼロクラブをゼロにする。これも予算の中でロータリー財団への寄付は1年2,000ドルを寄付するこ

とを実施しています。3番目が今回お話をする内容「ロータリー財団への内容を深める」ということです。4番目が「地区補助金管理セミナーへの出席要請」、今年の12月15日また恒例の松本大学で行います。次年度の会長エレクト、財団委員長、クラブ事務局の方々よろしく申し上げます。5番目が「地区補助金の申請」で、これはすでに今年は終了していますが、来年の2020年度のもので1月から3月中旬に行ってください。また、これに先立ってMAUの提出ということでクラブの覚え書き、これで地区事業をするなど補助金を申請するという意思を示してください。それが1月31日までとなっております。また、グローバル補助金申請は随時受け付けております。6番目が「ロータリー関係の加入を推奨する」、これはオリコスタンダードカード、皆さんカードたくさんお持ちなのでここでまた新しくカードをとということはないとおもいますが、スタンダードカードは年会費無料、ゴールドカードは年会費10,500円ですが、そのうち3,000円はロータリー財団へ寄付されます。そのオリコスタンダードカード、ゴールドカード、両方とも利用料金の0.3%がロータリー財団へ寄付される仕組みになっていますので是非カードを作ってくださいという推奨です。7番目が「地区ロータリー財団奨学生を推薦する」、グローバル補助金との関係ですけれども推薦をお願いします。8番目が「地区補助金の資金管理および報告をする」、先程、地区補助金申請ということがありますが、これは2019年度の地区補助金の資金管理および報告する。では早速「3. ロータリー財団に対する理解を深める」、ロータリー財団担当例会を下記の内容を中心に開催し1番から5番まで出ております。2600地区から求められていましたので、今回、資料をまとめていただいております。それでは、まず1番「ロータリー財団の補助金について」について説明させていただきます。ロータリー財団とは何かというと、ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」といいます。ロータリー財団は、1917年、アーチ・クランプ国際ロータリー会長が、「世界でよいことをするために」基金の設立をしたことに始まり、1983年に米国イリノイ州法の下に非営利財団法人となりました。日本法人として、「公益財団法人ロータリー日本財団」がありますが、「国際ロータリーのロータリー財団」の協力財団として、ロ

ロータリーの奉仕の理念に基づき、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを使命として活動しています。この使命は国際ロータリーのロータリー財団でも行われております。

②ロータリー財団の父 アーチ・クランプ「ロータリー財団の父と呼ばれるのは6人目のR I 会長、アーチ・クランプである。」

ロータリー財団の父 アーチ・クランプ

ロータリー財団の父と呼ばれるのは6人目のR I 会長、アーチ・クランプである。「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と1917年アトランタ国際大会で提案した。数か月後に、この新しく誕生した基金に米貨26ドル50セントの最初の寄付金が寄せられた。この基金がやがてロータリー財団に発展していく、その過程の出来事である。

アーチ・クランプは、貧しい少年時代を経て、米国オハイオ州クリーブランドで実業家として成功した立志伝中の人物である。また、アーチ・クランプは、フルトナー（14年間クリーブランド交響楽団の団員であった）やスポーツマンとしても活躍した。アーチ・クランプは、国際ロータリーの新定款を起草する委員会の委員長として、地区制度や地区ガバナー職をつくり、年次地区大会を確立した。また、アーチ・クランプは全ロータリークラブのために標準ロータリークラブ定款と細則を書き上げ、それは1915年に採択された。ロータリー草創期においてロータリー発展の基礎を築いたこともアーチ・クランプの業績である。

1912年から1913年にかけて、アーチ・クランプは、クリーブランドRC会長を務めた。友人達はアーチ・クランプを次のように評していた。「褒めてもさめてもロータリー夢を見るのもロータリー」の人間であると。当時ですら、アーチ・クランプは、いつも将来に目を向け、ロータリーがよい仕事をする方法を模索していた。アーチ・クランプがロータリーにかける夢の一つを初めて吐露したのはクリーブランドRCの会長のときだった。クラブ会長としてのスピーチで、今後、クラブが多くなることできるように「非常時基金」を作ること提案した。「非常時基金」の提案は、4年後のアトランタ国際大会で、「ロータリーが基金をつくり、何かよいことをしようではないか」という形で再登場する。各地のロータリアンが目先の世界の出来事に目を奪われている第1次世界大戦中にアーチ・クランプの夢が提起されたということとは、アーチ・クランプの理想の素直さの証と言えるだろう。

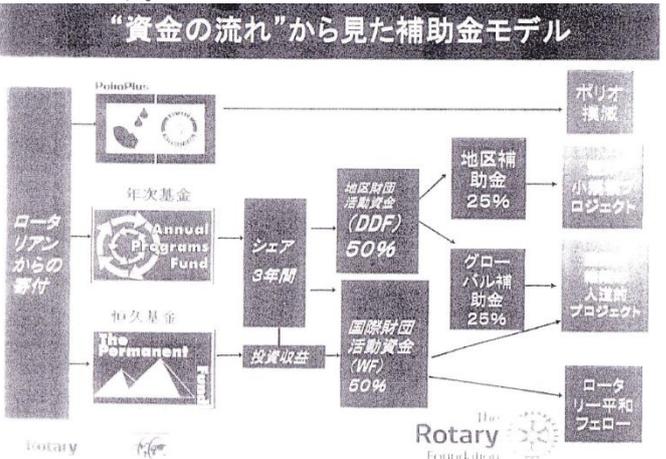
第1次世界大戦のさなかにロータリー財団の原形が誕生したのである。

アーチ・クランプは次のように述べている。「われわれはこの財団を今日明日の時点ではなく、何年、何世代の尺度で見つめるべきである。なぜなら、ロータリーは幾世紀にもわたる運動だからである。」

アーチ・クランプは、ロータリーを不滅にする手段として基金を構想した。「ロータリー財団は、レンガや石の記念碑を建てるものではない。たとえ、大理石に文字を刻んだとしても、やがては崩れてしまうだろう。真鍮を使ったとしても、いつかは汚れてしまうだろう。だが、心の中にその精神を刻むなら、そして、ロータリー精神と、神をおそれ同胞を愛する気持ちを吹き込むならば、われわれが刻んだものは永遠に輝き続け、文明の続く限り、ロータリーを不滅のものとするだろう。」

③ロータリー財団の補助金 未来の夢計画の下での新たな補助金制度では、補助金により、地区に大幅な権限を委譲し、同時に、グローバル補助金で、大規模なプロジェクトを実施できるようになりました。ロータリー財団の標語は、「世界で良いことをしよう」であり、上記したロータリー財団の使命に基づき六つの重点分野を定めています。・平和と紛争予防/紛争解決（2月）・水と衛生整備（3月）・疾病予防と治療（12月）・母子の保健（4月）・基礎教育と識字率向上（9月）・経済開発と地域開発（10月）④グローバル補助金 DDFの50%以上をグローバル補助金に割り振ることができる。プロジェクトは六つの重点分野に限られ、地区またはクラブが個々に財団に申請し、承認さ

れてからプロジェクトを実施する。現金寄付とDDFに対してWF（World Fund 国際財団活動資金）をマッチング（組み合わせ）する。⑤地区補助金 DDF（District Designated Fund 地区財団活動補助金）の50%以内を地区補助金に割り振ることができる。地区の裁量で、人道的、教育的にかかわりなく国際奉仕プロジェクトを実施できる。地区が財団に一括申請し、各クラブは地区に申請する。当年度の諏訪クラブのテーマは、諏訪市内4中学校への「諏訪学」支援事業です。「資金の流れから見た補助金モデルは別紙のとおりです。」



地区補助金の概要は、DDFのみが財源です。3年前に地区が年次基金に寄付した額と恒久基金への寄付の投資収益の合計がこのDDFの金額で、この50%以下を地区補助金として申請できます。日本の各地区は、毎年、DDFの繰り越しがあるが、繰り越しについては地区補助金の対象とならない。地区が一括して申請し、補助金を受け取る。地区によっては、その裁量で、クラブがある程度の資金を用意し、不足分を補うものとして地区補助金をクラブに授与している。2600地区では、各クラブの負担が30%で、残り70%を地区補助金として受領している。一括して受け取った補助金は、地区が資金管理する。各クラブが受領した後は各クラブが資金管理する。最終報告を提出しないと、次の地区補助金を申請できないので、比較的短期間のプロジェクトとなる。諏訪クラブでは、毎年プロジェクトを変えて実施しています。2) ポリオ・プラスについて ①ポリオとは ポリオとは、急性灰白髄炎又は骨髄性小児麻痺と呼ばれる、急性のウイルス感染症であり、ポリオウイルスの中枢神経への感染により引き起こされ、多くの場合脊髄前角の運動神経細胞が侵されるため、弛緩性の麻痺が特徴の病気です。発症

後、筋力低下と筋萎縮が永続的な後遺症として残り、重篤な場合、呼吸不全により死亡する可能性もあります。ポリオは感染源を特定しづらく、また、感染しても麻痺をきたす割合が1%以下と低く、90%以上が感染しても症状があらわれない、不顕性感染です。従って、1名麻痺患者がいるとすれば、周囲には100名程度の無症状感染者が存在することになります。ポリオを発症した場合、現在の医療技術では完全に麻痺を治すことは困難です。そのため、ワクチン接種による予防が何よりも重要であり、定期接種が導入されている乳幼児はもちろん、流行地域へ渡航する際にも予防接種を受ける必要があります。

②ポリオ・プラスとは1985年にロータリーがポリオ・プラスを開始した時、「プラス」という言葉は、ポリオ撲滅の取り組みが、子供の間に流行する他の5種類の伝染病（はしか、結核、ジフテリア、百日咳、破傷風）の予防接種にも広がることの予測・期待を表していました。時とともに、ポリオ撲滅の取り組みによる恩恵は増加していきました。ポリオワクチンを投与するキャンペーンでは、ビタミンAのサプリメントを配布するといった、健康面から命を救う手段が生まれました。ワクチンを運搬、保存するための新しい物流方法により、発展途上地域での感染症との闘いが以前より容易になりました。また新たなポリオ発症の発見を目的とする研究所や診療所の巨大なネットワークによって、ポリオだけでなく、ほかのウイルスの感染状況も監視できるようになったのです。加えてロータリーが立ち上げに寄与した世界ポリオ撲滅推進計画は、世界的な保険問題に取り組むための官民パートナーシップの手本として国際的に知られています。このように、ポリオ・プラスの「プラス」は、ポリオが常在する4か国での感染抑止にとどまらず、ポリオがこの世からなくなった後にも、ほかの感染症との闘いを支えていくインフラと協力態勢という遺産をも意味しています。

③ポリオ・プラス基金 ポリオ撲滅活動におけるもっとも重要な活動を支援するために、ロータリーの最優先プログラムである「ポリオ・プラス」にDDFを寄贈できます。DDF寄贈に対し、財団のWFから100%（同額）が上乘せされます。（上乘せの対象となるのは1,000万ドルまで）また、2019-20年度まで、ロータリーがポリオ撲滅活動に拠出する資金に対し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団から2倍の資金が上乘せされます。（上乘せ

の対象となるのは毎年5,000万ドルまで）従って、寄贈したDDFの4倍の金額がポリオ・プラスの資金となります。諏訪クラブでは、会員1名あたり30ドル寄贈することを予算で決めています。

④ポリオの現状
ポリオ感染の現状は以下のとおりで、完全撲滅には至っていません。

【野生株によるポリオ症例数】

掲載サイト: GPEIウェブサイト(英語)

		2019年 1月1日～ 7月24日	2018	2017	2016
常在国	パキスタン	45	12	8	20
	アフガニスタン	11	21	14	13
	ナイジェリア	0	0	0	4
常在国 以外	赤道ギニア	0	0	0	0
	イラク	0	0	0	0
	カメルーン	0	0	0	0
	シリア	0	0	0	0
	エチオピア	0	0	0	0
	ソマリア	0	0	0	0
	ケニア	0	0	0	0
世界合計		56	33	22	37

3) ロータリー財団の資金の仕組みについて、また
4) ロータリー財団の参加資格については先程少し触れさせていただいたところです。また、5番目のロータリー平和フェローですが、大分時間が過ぎましたので、基本的にロータリーの目標・重点目標である「平和と紛争予防・解決」この分野での主体とした取り組み、この平和に対して研究するためのプログラム、それと専門能力、開発修了証これは実際に職業についている方のプログラム、申請資格がありますが、その寄付をしている。

⑤修士号取得プログラムというところに国際基督教大学が日本の国内のものもある。アメリカ、イギリス、オーストラリア、スウェーデン、それと専門能力開発修了プログラムとしてタイの大学があります。「今日のリーダーを強化し、明日のリーダーを育てる」ロータリー平和フェローは、世界各地で協力と平和を推進し、紛争解決に貢献するリーダーです。争いのない世界を目指して行動するための知識と行動力を備えた人がフェローとして選ばれます。次世代の平和構築者を育てるために、あなたにもできることがあります。皆さんも補助金がどのようなものか、それ以外で世界的なレベルでの取り組みをロータリーが行っているかということをご理解いただければありがたいと思います。

◆今後の例会日程

11月10日	(日)	家族例会 バスハイク
11月15日	(金)	図書寄贈報告 社会奉仕委員会
11月22日	(金)	準法定休日